

何アラトモナ 今同ノ子件ヲ探物モリ 後継行ハ  
出テ来モノ如ク若シ重役ニシテ及者モ所ナキ程ハ更ニ適当ニ  
キモアツ降シ以テ社長以下ハ種ノ重役ヲ飽迄排斥セント  
喜氣込居シリ、

一方今社側ノ態度カ内査スルニ以テ中心人物ヲ淘汰スル喜氣込  
見カ如キ又以淘汰ニ依リ社長ノ疑念ヲ根カントテ根絶シ之ヲ  
以テ之ニ依リサルモノノ如ク併シ事件ヲ此程ニ放任スルトモハ今後  
此種ニ激分子ノ張出スル虞モトモ又適当ノ対策ク見テ  
一大斧鉞ヲ加(レ)トスルモノノ如クシ 然レモ今社ノ<sup>目標</sup>人物  
ヲ一ニ既無空カ可厩長若宇八十八(一)馬友全理(イ)チラシ  
ト思ハル、若シ同人ヲ此際誠意モツカ満友全理ハ勿論 其他ノ  
友以団体ノ防起ク見ルニ至リ一層紛糾ヲ大テラシメトモ思  
ハル

宣言 字 余 天 ノ、

吾々日赤郵船今社カ政務大敵故ノ海運界ノ不況ニ処セシ政策ハ  
毫モ社會及一般從業員ノ福祉ヲ考慮セズ 只管一己ノ経済  
者即チ所謂最高幹部及之ヲ一味ノ利益ノ爲ニ之吸クトシテ  
口モ高足ラサシノ 現況ニ對シテハ吾人ハ曾テ撥異海友新報紙上  
ク以テ屢ニ論難ニシテ反省ヲ求メタリ、

然レモ吾人十一月十日俄迄前社長林直忠氏ノ焼死ニ因テ社長  
停職未決リ以下重役ノ警ケク可ク不徳不義ノ事度ハ曝露  
サレ席ニ吾人ノ誠意見論難ノ可成ナルヲ蒙キスルニ至レリ、  
即チ経必者ノ重任ニ任ズル 社長以下重役皆ニ於テハ一ニ人権ヲ除  
キ悉ク私慾ノ爲ニ徒虎ヲ紐ニ而シテ相互ニ権謀術策ヲ講シ以テ  
勢力不信ノ争見内糾ノ醜状ハ遂ニ世人ノ目前ニ曝露サレテ天下ニ  
罵轟ランナリ、其ノ事實真相ニ就テハ故林氏カ從業員及株主ニ